

lesson 1 100%安全はない! リスクとリターンを学ぼう

次のテストにチャレンジ! (○か×かで答えてください)

- 1 リスクは危険という意味なので、リスクの高い金融商品はとても危険である ()
- 2 リターン(収益)が高い商品は儲かるので、できるだけリターンが高いものを選ぶほうがよい ()
- 3 元本保証の普通預金や定期預金なら将来も絶対安心 ()
- 4 定期預金は長期で預けるほうがお得だ ()
- 5 ブラジルや南アフリカなどの新興国は、金利が高いがリスクも高い ()



インフレリスク

普通預金や定期預金など元本が保証されている金融商品は、原則“元本割れ”することはありません。しかし、インフレが起きると見た目の数字は変わらなくても、現実的な生活ではお金の価値が減ることになります。

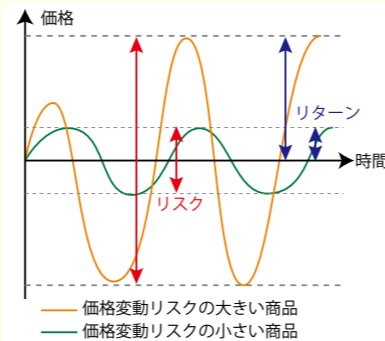
たとえば、0.035%の定期預金で1000円を複利運用すると5年で1001.7円になります。もしこの5年間毎年1%のインフレが起こったとしたら、この1001.7円は951.7円の価値になり、5年前は1000円で買ったものが買えなくなります。お金の価値が下がるのです。よって、③と④の答は×です。金利や経済状況を見ながら、運用方法は見直しましょう。

カントリーリスク

かつては10%を超える高金利で人気があった新興国の金利動向を数年見てみますと、15%前後から5%前後まで非常にブレが大きくなっています。また、金利が高い場合、確かに現地通貨ではどんどん増えますが、いずれ「日本円」に両替する必要があります。新興国

リスクとリターンとは

マネー運用での「リスク」は、儲かるか損をするかのブレの大きさを示します。図のように、儲かる可能性と損をする可能性のブレ幅が大きいとき「リスクが大きい」、その幅が小さいとき「リスクが小さい」と考えます。

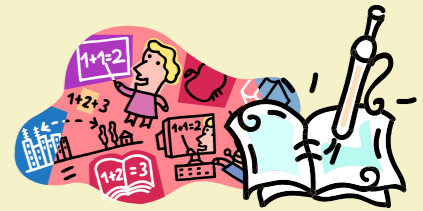


よって、①と②の答は×。リスクやリターン幅の大きい商品は、損をする可能性も高いので慎重に考える必要があります。勤められたまま金融商品を購入するのではなく、このリスクとリターンを十分理解して購入しましょう。

の場合、この為替変動が大きかったり、両替手数料が高かったりと、一概に高金利の恩恵を得られるとは限りません。新興国は社会や経済がまだ不安定であったり、通貨の流通量も少ないので「リスクが高い」と覚えておきましょう。よって⑤の答は○です。

シニアのための マネーレッスン

米国の経済、欧州の財政など海外事情の雲行きが定かではありませんが、我が国も厳しい財政や超長期の低金利が続いています。社会保障に頼り切れない時代、自衛のためにもお金のことを学んでおきませんか?



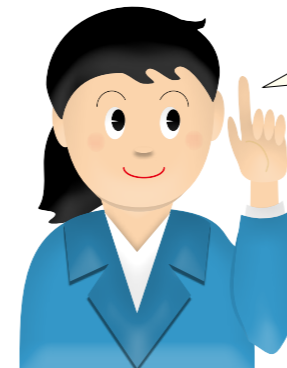
※本原稿は2012年7月に作成されたものです。市場の変化にご留意ください。

● 1ヶ月の家計にたとえると

1ヶ月の収入	40万円	
1ヶ月の支出	78万円	
内訳	家計費	59万円
	うち仕送り	(14万円)
	ローン元利払い	19万円
借金(不足分)	▲38万円	
年度末のローン残高	▲7,382万円	

● 日本の平成24年度一般会計

税金+税外収入	46.1兆円	
一般会計歳出	90.3兆円	
内訳	基礎的財政収支	68.4兆円
	うち地方交付税	(16.6兆円)
	国債費	21.9兆円
公債金収入(借金)	▲44.2兆円	
公債残高	▲709兆円	



毎月の収入が40万円しかないのに、毎月38万円も借金するとは、ちょっと考えづらいですね。日本の財政を一般の家計にしてみると、大変な状態とわかります。借りたお金はいつか返さなくてはならないもの。国はどこから借りているかというと、借金(国債)の約95%は日本国内、すなわち私たち国民からなのです。苦しい財政の中、社会保障費(年金・医療・介護)もぐんぐんと伸びています。そして長引く低金利。自分の老後資金は賢く自分で『守る・増やす』を考えなくてはならない時代ですね。